

令和元年度 第2回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」議事録

日時：令和元年10月25日（金）20時00分～21時00分

場所：市役所10階第5A会議室

会議次第

1 開 会

2 議 題

- (1) 令和元年度第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録の確認
- (2) 第2期おびひろこども未来プラン（原案策定に向けた検討）について
- (3) 子ども・子育て支援事業等に係る必要量と確保方策について
- (4) 幼児教育・保育の無償化について

3 その他

4 閉 会

配付資料

資料1	令和元年度第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録
資料2	第2期おびひろこども未来プラン（原案策定に向けた検討資料）【概要版】
資料3	第2期おびひろこども未来プラン（原案策定に向けた検討資料）
資料4	幼児教育・保育の無償化関係資料
追加資料	基本理念策定に係る資料

出席委員（19名中11名出席）

成田委員、明神委員、永井委員、伊賀専門委員、宮崎専門委員、佐藤専門委員、野崎部会員、加藤部会員、南出部会員、福島部会員、吉澤部会員

事務局

広瀬こども未来部長、野澤こども未来部企画調整監、郡谷こども課長、星野保育担当課長、戸田課長補佐、村木子育て支援課長、金田課長補佐、今青少年課長、三好児童会館長

令和元年度 第2回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」議事録
(令和元年10月25日 20:00~21:00)

1. 開 会	
2. 議 事	
議題（１）	(1) 令和元年度第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録の確認
(事務局)	(資料1の説明) 7月29日に開催した令和元年度第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会の議事録について内容を確認。 修正なしのため、市ホームページへ掲載する。
議題（２）	(2) 第2期おびひろこども未来プラン（原案策定に向けた検討）について
(事務局)	(資料2の説明) 概要として、プラン策定の趣旨、位置づけ、計画期間、スケジュール、構成（施策体系）、子ども・子育て支援事業計画などを説明。 プランの基本理念については、本日の会議にて決定予定。
(事務局)	(資料3、『帯広市の子どもを取り巻く状況』を説明) 帯広市の子どもを取り巻く状況について、人口や出生数は減少傾向にあり、65歳以上の老年人口の割合が増加している。就労状況については、女性の労働力率は全体的に高まっており、育児休業制度も普及してきている。子どものいる世帯は減少傾向だが、ひとり親家庭の割合は増加傾向にある。子育てに対する意識については、喜びや生きがいを感じると回答した割合は高いものの、強い不安や負担を感じると回答した割合が前回（平成25年度）調査時より高くなっている状況などがみられる。
〈部会長〉	今の説明に対し、意見などあるか。

	<p>——質問や意見など特になし——</p>
<p>〈部会長〉</p>	<p>事務局から次の項目の説明をお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(資料3、『基本目標 I 子どもを守る』を説明) 子どもの権利の尊重、子どもの虐待防止の推進、子どもの健康づくりの推進、子どもの安全な環境の確保に関する内容を説明。</p>
<p>〈部会長〉</p>	<p>今の説明に対し、意見などあるか。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>虐待防止について、緊急性が高い問題だと思うが、文面からは緊迫感が不足していると感じる。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>文言の修正を検討したい。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>子どもへ意識が向いていない親も見受けられる。親の価値観を変えることに対して、行政や学校が家庭に入り込むのは難しい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>親へのアプローチを関係機関と連携しながら取り組みたい。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>子どもを夜中に食事に連れ出している家庭を見かける。学校生活でも朝は眠たい様子で、やる気のない姿にも見える。難しい問題だが、早急に取り組むべき問題だ。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>子ども中心の生活の大切さを伝えていく必要性は認識している。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>子どもの貧困対策といえる具体的な施策はあるのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>国の動向を踏まえ帯広市の具体策を検討していく考え。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>「子ども食堂」に呼びたい児童は参加しない。親が子どもに百円だけ渡して外出するという話を聞いた時には驚いた。「子ども食堂」に参加できない子どもをどのように救うのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>小学校にチラシを配布するなど、地道だが参加を促すような取り組みをすすめる。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>「子ども食堂」が楽しい場であることを子どもたちに伝えないといけない。安心して参加できる環境を整えてあげるとよい。また、</p>

	<p>食材提供をフードバレーとかちに参加する企業へ投げかけ、広めていけないか。</p>
(事務局)	<p>北海道による「フードドライブ」の取組みもある。振興局や市内の企業と支援をどのように繋げていけるか検討したい。</p>
〔委員〕	<p>子どもの生まれ育った環境に左右されないとあるが、部活動の際にお弁当を持参できない家庭の生徒に、周りの友達がお弁当を用意してくるなど、周りにサポートされている事例を見て感心したことがある。恵まれたパターンだが、帯広市はそんな現状があることを把握しているのか。</p>
(事務局)	<p>帯広市における現状の詳細については把握しきれていない。今後、子どもの貧困に関する国の調査が進むと聞いているので、注視していきたい。市民との関わり方も検討したい。</p>
〈部会長〉	<p>この他意見など無ければ、事務局から次の説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(資料3、『基本目標Ⅱ安心して子どもを産み育てることができる』を説明)</p> <p>安心して妊娠・出産ができる環境の確保、相談支援体制の確保、子どもの発達・生活の支援、わかりやすい情報発信の推進に関する内容を説明。</p>
〈部会長〉	<p>今の説明に対し、意見などあるか。</p>
〔委員〕	<p>市から情報発信はしているようだが、市民からは知らないことが多い、どこに相談していいかわからないなどの声を聞く。それらが親のストレスになっているのではないか。</p>
〔委員〕	<p>これまでの方法をアレンジしながら、SNSなどを利用して、今後の周知方法を検討してほしい。</p>
(事務局)	<p>情報発信については、市民を巻き込むくらいでないと伝わらないこともある。意見として承り、今後の参考としたい。</p>
〔委員〕	<p>岩見沢市は教育委員会や子育て関係課が集約され、コンパクトな印象を受けた。遊ばせる場所もあり、遊びに行くついでに相談でき</p>

	<p>る。帯広市は市庁舎と子育て支援課の場所が異なるので、バラバラな印象。妊婦や小さい子どもを抱えている利用者には不便を感じる。</p>
(事務局)	<p>市の規模にもよるが、可能な限り市民の負担にならないよう、各課連携を図っていきたい。</p>
〔委員〕	<p>子育て支援センター等の事業を知らない親を減らすため、「周知」について、プランで具体的に施策として取り組み、記載すべき。</p>
(事務局)	<p>本文に盛り込んだつもりだが、表現方法について再度確認する。</p>
〈部会長〉	<p>この他意見など無ければ、事務局から次の説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(資料3、『基本目標Ⅲ子どもや子育て家庭をみんなで支える』を説明)</p> <p>仕事と子育ての両立の支援、幼児教育の促進、子育てを地域で支える仕組みづくりの推進、子育て家庭への経済的な支援、ひとり親家庭への支援に関する内容を説明。</p>
〈部会長〉	<p>今の説明に対し、意見などあるか。</p>
〔委員〕	<p>男性の育児休業の促進を本文に記載してほしい。</p>
(事務局)	<p>本文に盛り込んだつもりだが、表現方法について再度確認する。</p>
〔委員〕	<p>児童保育センターの施設環境整備について、暑さ対策やトイレが男女共同、蛇口が下向きのままなど、小さな施設環境整備も盛り込んでほしい。</p>
(事務局)	<p>特に夏休みの暑さには苦勞をかけていた。具体的なプランへの記載は難しいが毎年度の予算編成の中で対応を検討したい。</p>
〔委員〕	<p>連携施設に「認可外保育施設」の文言も記載してほしい。</p>
(事務局)	<p>検討する。</p>
〔委員〕	<p>新しい幼稚園指導要領や保育指針において、幼児期終了までに育</p>

	てたい10の姿が明文化されている。幼稚園や保育所と小学校がスタートカリキュラムに取り組んでいく必要がある。
(事務局)	指導方針についても情報共有が必要。表現について再度検討する。
〔委員〕	教育と保育の連携促進について、エリアファミリーの連携の意味合いを含むと一層よいのではないか。
(事務局)	教育委員会と記載内容について確認し、検討していきたい。
〈部会長〉	この他意見など無ければ、事務局から次の説明をお願いします。
(事務局)	(資料3、『基本目標Ⅳ子どもや子育て家庭をみんなで支える』を説明) 子どもの体験活動の推進、青少年の社会参加の支援、青少年の健全育成活動の推進に関する内容を説明。 ——質問や意見など特になし——
〈部会長〉	基本理念について、協議を行う。
(事務局)	(追加資料の説明) 第2期おびひろこども未来プランが目指す基本理念を当部会で決定したい。参考までに、現おびひろこども未来プランの基本理念は「子どもたちが夢と希望にあふれ 健やかに育つまち おびひろ」、第7期帯広市総合計画の子育て支援のキャッチコピーは「笑顔でつなぐ、みんなの子育て」となっている。おびひろ、笑顔、みんな(支えあう)、子育て、未来(つなぐ)、などのキーワードを含んだ基本理念としたい。
〈部会長〉	委員等から意見はないか。 ——質問や意見など特になし—— 意見等なければ、事務局から案を提案してほしい。
(事務局)	事務局から次の5案を提案しますので、ご意見いただきたい。

	<p>① みんなで支え 笑顔あふれる子育てのまち おびひろ ② みんなで支え合い こどもの笑顔があふれるまち おびひろ ③ こどもが健やかに育ち みんなの笑顔でつながるまち おびひろ ④ みんなでつなぐ子育ての輪 守る・支える・育てあうまち おびひろ ⑤ とともに育むこどもの笑顔 未来へつなぐ おびひろ</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>今後の帯広を担う子どもが主役に感じられるものが望ましいので、⑤番がよいと思う。</p>
<p>〔委員〕</p>	<p>——⑤番が良いという意見多数——</p>
<p>〈部会長〉</p>	<p>それでは、「ともに育むこどもの笑顔 未来へつなぐ おびひろ」を第2期おびひろこども未来プランの基本理念とする。</p>
<p>議題（3）</p>	<p>（3）子ども・子育て支援事業等に係る必要量と確保方策について</p>
<p>（事務局）</p>	<p>（資料3、『教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業計画』を説明） 支援事業計画においては、子ども・子育て施策の量の見込み（需要）と確保方策（供給）について5年を1期として定めることとされており、平成30年に実施した子育て世帯を対象としたアンケート調査結果と過年度実績を基に量の見込み（需要）を推計している。 今回のポイントとしては、共働き世帯の増加と女性の早期職場復帰等により、0歳から2歳までの低年齢児の保育ニーズが高まるものと見込んでおり、それらの確保方策に取り組んでいく。また、現在未設置の病児保育についても、次期計画期間内での開設に向けて取り組んでいく考え。</p> <p>——質問や意見など特になし——</p>

<p>議題（４）</p> <p>（事務局）</p>	<p>（４）幼児教育・保育の無償化について</p> <p>（資料４の説明）</p> <p>１０月からスタートした幼児教育・保育の無償化について、対象者、対象施設、利用状況、給食費の徴収状況などについて説明。</p> <p>———質問や意見など特になし———</p>
<p>３．その他</p> <p>（事務局）</p>	<p>プランの点検・評価については、目標項目と目標値を定め、進捗管理を行っていく考え。その結果については、市町村子ども・子育て会議の役割を担う「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」へ報告していく。</p>
<p>〈部会長〉</p>	<p>委員の皆さんや事務局から何か報告等あるか。</p> <p>特になければ第２回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会を閉会する。</p>
<p>４．閉会</p>	